

経営比較分析表（令和5年度決算）

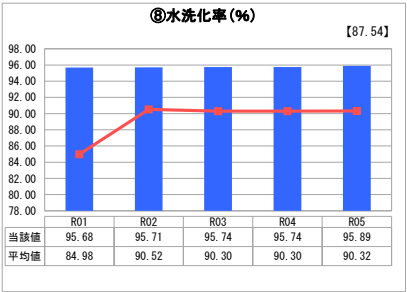
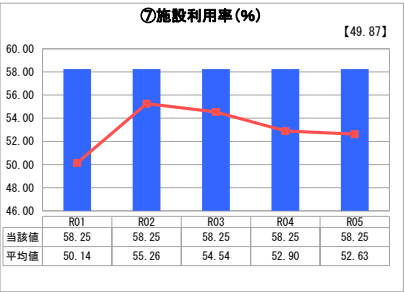
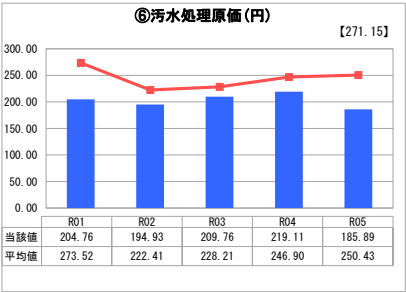
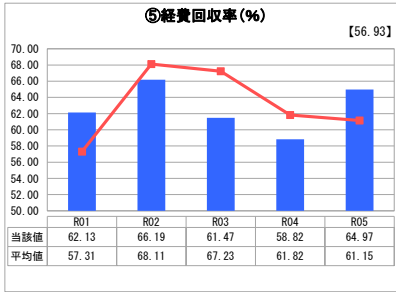
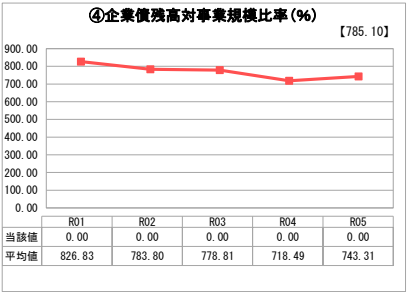
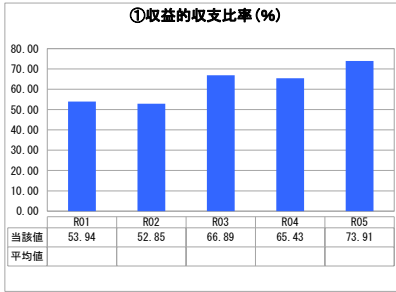
埼玉県 吉見町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	27.50	100.00	2,145

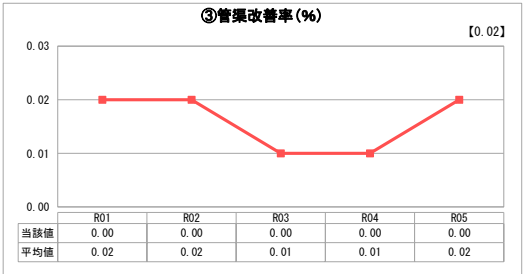
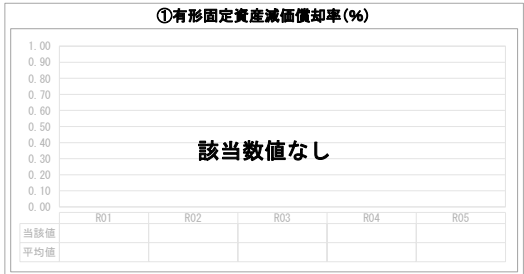
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
17,859	38.64	462.19
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,894	7.73	633.12

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益の収支比率
前年度と比べ、8.48%増加した。これは令和5年度が打ち切り決算であったことから、総費用が19,783千円減少したことが主な要因である。

④企業債残高対事業規模比率
地方債現在高と一般会計負担額が同額のため、例年0%となっている。

⑤経費回収率
前年度と比べ、6.15%増加した。令和5年度の使用料収入及び汚水処理費はそれぞれ58,981千円（対前年度比4,662千円減）、90,782千円（対前年度比17,420千円減）となっており、打ち切り決算の影響により減少となっており、特に汚水処理費の減少が経費回収率の増加の要因となっている。

⑥汚水処理原価
前年度と比べ、33.22円減少した。減少要因としては打ち切り決算により汚水処理資本費が前年度比17,420千円減となったためである。

⑦施設利用率
例年58%台で安定して推移している。使用者のほとんどが一般家庭であり、汚水の処理量に大きな変動がないことが要因である。

⑧水洗化率
前年度と比べ、0.15%増加した。現在水洗便所設置済人口が前年度現比68人減、現在処理区域内人口が79人減となっており、現在処理区域内人口の減少人数の方が大きかったことが水洗化率を増加させた要因である。

2. 老朽化の状況について

③管渠改善率
例年、0.00%となっているが、今後は、管渠の更新及び耐震化について、施設の統廃合も含め検討し、計画的に進めていく。

全体総括

令和5年度は打ち切り決算であったことを要因として、費用などが大幅に減少したことから収益の収支比率、経費回収率が増加となったが、基本的には例年維持管理費は増加傾向にある。中長期的な視点で経費削減、料金改定の検討を行い、計画的で安定的な経営に努める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益の収支比率の類似団体平均等を表示していません。